

子どもの健康と病気の予防⑱

－ 定期予防接種 ～2024年4月からの変更点～ －

小宅医院 小宅民子

2024年4月から、5種混合ワクチン、15価肺炎球菌ワクチン、新型コロナワクチンが定期接種に導入されます。

5種混合ワクチンは、4種混合ワクチン（ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ）にHibワクチン（インフルエンザ菌b型による感染症の予防）を追加したワクチンです。現行のHibワクチンや4種混合ワクチンと同等の有効性と安全性を有しています。5種混合ワクチンの接種によって、接種回数を減らすことが期待できます。接種対象年齢は同様に生後2ヶ月からです。接種回数も初回接種が3回、追加接種が1回と変わリません。原則、初回接種をHibワクチン、4種混合ワクチンで初めた場合は、追加接種までHibワクチン、4種混合ワクチンを接種します。肺炎球菌ワクチンも、15価肺炎球菌ワクチンが追加され

ました。既存のワクチンは、13価肺炎球菌ワクチンで、13種類の肺炎球菌血清型に対応しています。新しいワクチンはさらに2種類の血清型にも有効性が確認されています。より多くの肺炎球菌感染症に対応できます。接種対象年齢や回数に変更はありません。5種混合ワクチン、15価肺炎球菌ワクチンは、今までの皮下注射に加え、筋肉注射も可能になりました。

新型コロナワクチンの全額公費による接種は、2024年3月31日で終了しました。4月からはインフルエンザと同様に高齢者を対象とした定期接種となります。4月以降に定期接種以外で接種希望の場合は、任意接種となり、自費での接種となります。



定期予防接種 2024年4月からの変更点の5つのポイント！

- ① 5種混合ワクチン、15価肺炎球菌ワクチン、新型コロナワクチンが導入される
- ② 5種混合ワクチンは、4種混合ワクチンにHibワクチンを追加したワクチン
- ③ 15価肺炎球菌ワクチンは、さらに2種類の血清型にも有効
- ④ 5種混合ワクチン、15価肺炎球菌ワクチンの接種対象年齢、回数は、変更なし
- ⑤ 新型コロナワクチンは、定期接種対象者以外、任意接種となり、自費で接種

